

○日 時：令和7年2月1日（土）15：00～

○場 所：奈良公園バスターミナルレクチャーホール

奈良市登大路町76 県庁本庁舎東側 【定員：150名】

○テーマ：奈良盆地東縁断層地震が起こったらどうする？～熊本地震の経験から学ぶ～

○目 的：全国各地で地震が頻発しており、奈良県周辺においても奈良盆地東縁断層帯地震による被害想定ではマグニチュード7.4で多くの負傷者の発生や建物の倒壊、ライフラインの断絶等が予想される。いざ、災害が起こった時に実際に行動できるのか、初動の行動や対応について、平時からできる備えや地域での連携について考える。

○対 象：奈良市内の医療・介護・福祉関係者など

○主 催：奈良市在宅医療・介護連携支援センター

○後 援：奈良県、奈良県医師会、奈良市歯科医師会、奈良市薬剤師会、奈良県看護協会、奈良県訪問看護ステーション協議会、奈良県介護支援専門員協会、奈良市社会福祉協議会、奈良県歯科衛生士会、奈良県栄養士会

○内 容：

【レクチャーホール】

<基幹型包括から報告> 開会前、奈良市の多職種連携の取り組みをスライドショーで流す。

<開 会>15:00～（5分） 挨拶：奈良市医師会 会長 国分 清和 先生

<講 演>15:05～15:45（40分）

座長：うえしげクリニック 上繁 宣雄 先生

1. 「(仮) 熊本地震の経験から 医療の状況、活動について」

熊本市医師会 宮本外科・消化器内科 宮本 大典 先生

15:45～16:05（20分）

2. 「熊本県訪問看護ステーション連絡協議会における災害対策に向けての体制構築とその後の実践活動」

全国訪問看護事業協会理事 訪問看護ステーション清雅苑 木村 浩美 先生

<休憩・移動>16:05～16:15（10分）

【ホール前廊下】

<グループワーク>16:15～（40分）

司会：奈良市在宅医療・介護連携支援センター長 山崎 政直 先生

「災害に備えて専門職として自分たちができること」

<移動>16:55～

【レクチャーホール】

<発表・まとめ>17:00～（20分）

<中締め挨拶>17:55（5分） 挨拶：新大宮クリニック 井戸 芳樹 先生

<移動>17:20～

【ホール前廊下】

<交流会>17:25～

会場にて飲み物やお菓子を用意、または軽食（ケータリング）

*時間のある方は 時まで可

総合司会：奈良市在宅医療・介護連携支援センター 佐藤